

令和2年度全国安全週間

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、一度も中断されることなく続けられ、今年で93回を迎えることとなりました。

この間、事業場では労使が協調して労働災害防止対策を進めてきた結果、労働災害は長期的には減少しており、令和元年の死亡災害は前年を下回る見込みです。また、休業4日以上死傷災害は、前年を下回る見込みであるものの、60歳以上の労働者が占める割合が増加傾向にあります。

大阪府下におきましては、死亡災害は前年を大きく下回る53名、死傷災害も前年を166名下回る8,806名となりましたが、第13次労働災害防止計画における死傷者数の目標達成のため、更に取り組んでゆくことが重要です。

また、健康寿命とともに職業生涯が延伸していることから、多様なニーズを持つ高年齢労働者が安心して安全に働ける職場環境を改善してゆくことが求められています。

大阪労働局では、このような状況を踏まえ、さらなる労働災害の減少を図ることを決意して、

エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減

のスローガンのもと、令和2年度全国安全週間を展開いたします。

本週間を契機に、各事業場におかれましては、全国安全週間実施要綱に基づいた活動を通じて、関係者の意思統一及び安全意識の高揚を図っていただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する目的から、その活動におかれましては、①密閉空間（換気の悪い密閉空間）、②密集場所（多くの人々が密集している）、③密接場面（お互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件が同時に重なる場を避けて取り組んでいただきますようお願いいたします。

大阪労働局 労働基準部 安全課よりお知らせ

大阪労働局では、例年、全国安全週間の初日である7月1日に安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣・大阪労働局長表彰式を開催して参りましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、本年度も表彰は行うものの、表彰式は中止することとなりました。

また、本年度の「リスク“ゼロ”大阪推進大会」も、全国安全週間大阪大会運営会議の議決を受け、中止する運びとなりました。

